

企業価値向上に向けた TCFDシンポジウムin大阪・関西

～ 投資家・評価機関・企業それぞれの観点からTCFD開示について考える ～

令和5年**1月13日** **金** 13:30～15:30
(13:00開場)

会場 AP大阪茶屋町 8階 会議室D+E+F+G

開催方法 ハイブリッド開催（ZOOM利用）
参加者定員：現地50名、オンライン50名

対象 主に企業IR・ESG部門関係者さま等

プログラム

参加費無料

● 第1部（基調講演）

① サステナビリティ情報開示を企業価値向上へつなげる（仮）

アセットマネジメントOne株式会社 運用本部 責任投資グループ
エグゼクティブESGアナリスト **櫻本 恵** 氏

② TCFDとCDP質問書の関係（仮）

一般社団法人 CDP Worldwide-Japan
シニアマネジャー **原田 卓哉** 氏

● 第2部（座談会/パネリストと参加者との質疑応答）

「投資家・CDPからみたサステナビリティ情報開示」

パネリスト 櫻本 恵 氏 アセットマネジメントOne（株）
松原 稔 氏 リそなアセットマネジメント（株）執行役員
原田 卓哉 氏 （一社）CDP Worldwide-Japan
モデレーター 菊池 淳子 氏 日本工営株式会社

開催趣旨

気候関連財務情報開示（TCFD）については、プライム上場企業を中心に情報開示の対応が進められています。

一方、TCFD開示済みの企業からは「機関投資家・ESG評価機関が着目しているポイントが分からない」や「開示を行ったものの今後どこまで開示すれば良いか分からない」等の声が聴かれており、これらの課題を解決するためには企業・投資家・ESG評価機関の間におけるエンゲージメント（建設的な対話）の重要性がこれまで以上に増しています。

そこで、本シンポジウムは、第一部として気候関連情報開示の受け手であるアセットマネジメントone株式会社の櫻本氏、一般社団法人CDPジャパンの原田氏より、現在の状況や所感を基調講演としてお話いただきます。その後、第二部として「投資家・CDPからみたサステナビリティ情報開示」と題し、第一部の内容を深掘りしつつ、パネリストと参加者の双方向な質疑応答を行います。

申込方法

下記リンクまたはQRコードより参加登録フォームへご記入ください→ <https://forms.gle/qTPejgpTuZxJPpHLA>

締切：令和5年1月10日(火)17時まで



会場案内

●住所

〒530-0013
大阪府大阪市北区茶屋町1-27
ABC-MART梅田ビル 8F

●交通アクセス

JR「大阪駅」をご利用の場合
→ 御堂筋北口より徒歩約3分



注意事項

- ・メディアの方で取材される場合は、事前の御連絡をお願いいたします。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、当日は手指の消毒・手洗い・マスクの着用・咳エチケット等の感染症対策の徹底への御協力をお願いいたします。